

平成26年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 : 平成27年1月30日(金) 13:30~16:30
2. 場 所 : TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター5階ホール5A
3. 出席者 : 藤田委員長、沖野委員、西條委員、辻本委員、
中村委員、長谷川委員、松尾委員、山村委員
4. 議 事
 - (1) ダム等の定期報告
 - 1) 美和ダム
 - 2) 小渋ダム
 - 3) 横山ダム
 - (2) 横山ダム再開発事業の事後評価
 - (3) その他報告
 - 1) 平成25年度 年次報告(案)
 - 2) 平成26年の主な出来事
 - (4) 審議概要等の確認

(1) ダム等の定期報告について

1) 美和ダム 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた美和ダムの定期報告書(案)について、審議を行った。

その結果、美和ダムは治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、美和ダムについては適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 防災操作

- ・土砂バイパスからの放流量も整理すること。

ii) 利水補給

- ・なし

iii) 堆 砂

- ・堆砂の推移について、土砂バイパスによる排砂量も含めて整理すること。

iv) 水 質

- ・なし

v) 生 物

- ・なし

vi) 水源地域動態

- ・なし

- 定期報告書については、了承する。委員からの意見等は、提案(発言)の趣旨を踏まえ定期報告書に反映させること。

2) 小渋ダム 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた小渋ダムの定期報告書(案)について、審議を行った。

その結果、小渋ダムは治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、小渋ダムについては適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 防災操作

- ・なし

ii) 利水補給

- ・なし

iii) 堆 砂

- ・なし

iv) 水 質

- ・なし

v) 生 物

- ・ブルーギルについては、環境改善の効果や、今後バイパストンネル運用の影響によって、下流河川でも増加する可能性があるため、留意すること。
- ・ツツザキヤマジノギクについては、今後も調査を継続すること。

vi) 水源地域動態

- ・なし

- 定期報告書については、了承する。委員からの意見等は、提案(発言)の趣旨を踏まえ定期報告書に反映させること。

3) 横山ダム 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた横山ダムの定期報告書（案）について、審議を行った。

その結果、横山ダムは治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、横山ダムについては適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 防災操作

- ・なし

ii) 利水補給

- ・なし

iii) 堆 砂

- ・なし

iv) 水 質

- ・水質保全施設の効果について具体的に記載すること。

v) 生 物

- ・オオキンケイギクは、早急に除去するよう努めてほしい。
- ・平成 15 年度以降大きく減少しているロードキルについては、位置を特定するなど、調査資料を検討して、原因・対策に役立ててほしい。
- ・貯水池運用の変化により、湖岸植生が変化し、鳥類等も変化するので河川水辺の国勢調査だけでなく短期間の変化も監視すること。

vi) 水源地域動態

- ・なし

- 定期報告書については、了承する。委員からの意見等は、提案（発言）の趣旨を踏まえ定期報告書に反映させること。

(2) 横山ダム再開発事業の事後評価について

横山ダム再開発事業の事後評価について、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性について審議を行った。

- ① 今後の事後評価の必要性
- ② 改善措置の必要性
- ③ 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性
- ④ 対応方針

上記4点について事務局原案どおり、了承する。

但し、事業評価手法については、引き続き検討を進めて頂きたい。

(3) その他報告

平成25年度の年次報告の概要についての説明、及び、平成26年のダム等の管理に関わる主な出来事についての報告があった。

小里川ダムの水質については、富栄養化状況の推移を注意深く監視すること。